



虐待は  
大人になって  
終わりじゃない

# REAL VOICE

児童虐待を経験した若者達のドキュメンタリー



児童虐待を経験した若者たちは、大人になっても生きづらさを抱えている。

今も苦しみや痛みと向き合いながら生きる  
若者達のリアルに迫ったドキュメンタリー。

監督は、自身も児童養護施設で育ち  
現在はボランティア団体の代表として生きる山本昌子。

北海道から沖縄まで、総勢40名を超える若者たちの“REAL VOICE”。

監督：ACHAプロジェクト代表 **山本 昌子**

生後4か月から19歳までを乳児院、児童養護施設、自立援助ホームで育つ。  
現在は、児童養護施設出身者へ振袖を着る機会を提供し「生まれてきてくれてありがとう」  
を伝えるボランティア団体“ACHAプロジェクト”の代表として活躍。  
コロナ禍をきっかけに全国の社会的養護出身者とオンラインで繋がり、  
食品や洋服の支援を行う中で、児童虐待の苦しみと今も戦い続けている若者たちが  
あまりにも多いことに気付く…。



## 【長府地区上映会】 入場無料

日時：令和6年5月18日（土曜日） 開場 13時30分 上映 14時00分（約90分）  
会場：蛍遊苑（下関市長府侍町2-6-45） 電話083-241-0021）  
問合せ先：実行委員会（山縣）090-4573-3823

## 出演者たちの思い

「死にたいけど生きたい」

そんな思いがどういうことなのか

知ってほしいと思い出演することを決めました。

高知県出身  
児童養護施設経験者

時間とともに「忘れる」ことはないことを知ってほしいです。

過去の事じゃないです。ずっと苦しみます。

ですが沢山の方々の助けがあったからこそ

私はここまで生きてこれました。

私たちは今日を必死に生きています。

香川県出身  
一時保護所経験者

過去に虐待を受けて、親にいい顔して救ってくれなかった人。

今は当時恨んでいたその児童福祉司を目指しています。

今もまだ内心親を許していません。だからこそ、

18歳越えた元保護児童の声を知って欲しいです。

大分県出身  
里親家庭経験者

## 応援メッセージ



歌手 **加藤登紀子**さん

加藤登紀子です。山本昌子さんがこれからREALVOICEというフィルムを撮って行くそうです。私は心から応援しています。私の歌で「この手に抱きしめたい」という歌をこの映画の制作にプレゼントしているんですね。この映画のテーマとしてぜひ皆さんに聞いていただきたいと思っています。



俳優・タレント **サヘル・ローズ**さん

1985年イラン生まれ。7歳の時に養女となり、8歳で養母とともに来日。高校時代から芸能活動を始める。現在は俳優などとして活動するほか、国際人権NGO「すべての子どもに家庭を」の活動で親善大使を務めている。

彼女にしか出会えない言葉があります。

新しく挑む背中を見守っています。アナタらしく貫いてね。